

家庭教育 なう vol.8



2021年9月発行
恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 嶋倉
〒509-7203 恵那市長島町正家後田1067-71

TEL 0573-26-1111 (内線209)
FAX 0573-25-7129
Mail shimakura-shinzo@pref.gifu.lg.jp

乳幼児学級「ぴっころ」 苗木公民館(中津川市)

子育てサロン型+講演型

中津川市苗木公民館の乳幼児学級「ぴっころ」が7月19日開級しました。今年度の「ぴっころ」には12組28人の親子が参加しています。例年20組を超える親子が参加していた「ぴっころ」でしたが、昨年はコロナの影響で7組の参加にとどまっていたため、完全復活まであと少しというところで、今回、マスク着用・換気・手指消毒と感染予防に十分配慮して開催されました。参加者は初めての顔合わせでもあり、緊張の面持ちでした。



グループに分かれて相談しています。

開級式の日の スケジュール

- 1 あいさつ
- 2 自己紹介
- 3 担当の石原さんのお話と手遊び
- 4 講師の講話
- 5 グループ分け
- 6 班長決め・学びたいこと
- 7 終わりのあいさつ



担当の石原さんのお話や手遊びの後、家庭教育推進専門職も時間をいただいて絵本と一緒に読みながらお話しさせていただきました。

次に、12組の親子を6組ずつに分けて、それぞれの班で互選で班長を決めます。ここがなかなか難しいだろうなと思っていました。先輩ママが率先して引き受けてくれて、とてもスムーズに決定しました。班長が決まったら、どんなことをやってみたいかの意見交流です。年間計画表には日付だけが示されていて、内容はグループで考えることができます。参加者が主体的に企画に参加できる仕組みは素敵ですね。また、毎回学級の最初の出席確認と絵本の読み聞かせをする「当番」も決められました。全員、一度は当番を体験することになります。

参加者の感想より

▽子どもとのかかわりを改めて聞くことができて良かったです。

▽コロナでなかなか子ども達と親が集まれる機会がないのでこれからが楽しみです。

▽同じくらいの子ども達なので、泣いたりしてもみんな同じだし安心して参加できそうです。

▽少し緊張して来ましたが、楽しそうな雰囲気、これからの活動が楽しみになりました。

▽絵本は大切だから読んであげようと思っはいるんですが、なかなか読み忘れてしまっ。・・・ということがけっこうあるので、あらためて私が意識して読もうと思いました。



家庭教育推進専門職からは、絵本の良さと読み聞かせの大切さについてお話ししました。

令和3年度 乳幼児学級ぴっころ

参加者募集

保育園、幼稚園に入園前のお子さんを持つ親さん!!
子育ての学びの場・親同士、親子の交流の場に参加してみませんか?



参加要項

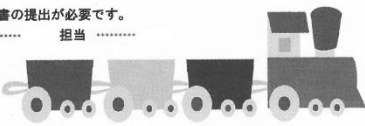
対象 苗木在住の0歳～未就園児の親子
活動日 6月～3月 第3月曜日 午前10:00～(各回によって変更する場合あり)
活動場所 苗木交流センター会議室1 (活動内容によって変更する場合あり)
参加費 実費あり
定員 20組
申込み 下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、5月31日(月)までに苗木公民館へお申し込みください。
引きつづき参加希望の方も申込書の提出が必要です。

問い合わせ先 苗木公民館 TEL 担当

1回目のぴっころは

6月21日(月) 10:00から
苗木交流センター会議室1にて開講式
・自己紹介など

※コロナウィルスの感染状況によっては中止となる場合もあります。ご了承ください



令和3年度 乳幼児学級ぴっころ 参加申込書

親さんについてご記入ください

ふりがな	住所	〒	
氏名	地区	区	
性別	男・女	電話番号	自宅携帯

子供さんについてご記入ください

ふりがな	性別	生年月日	月	年齢
氏名	男・女		年	か月
ふりがな	性別	生年月日	月	年齢
氏名	男・女		年	か月

地域で回覧された募集チラシ



担当の石原さんが、子どもとのスキンシップの大切さを語っています。

「ぴっころ」について、担当している石原さんに聞きました。

▽年間何回行くのですか?

毎月第3月曜日に開催します。今年は7月から3月までで合計9回の予定です。

▽開催時間は?

10時から11時30分までの1時間30分です。午後だとお昼寝の時間になってしまいますからこのぐらいの時間が適当だと思います。

▽募集はどのようにしていますか?

チラシ(左参照)を作成して、地域の回覧してもらいます。複数枚回覧に入れておいて、必要な人にとってもらえるようにしています。

▽回覧だけで

12組も集まるのですか?



回覧だけでは難しいです。

保育園や、毎月2回この公民館で行われる子育て支援センターの出前講座などで、チラシを配付してもらっています。また、先輩お母さんからのクチコミも結構効いていますよ。

▽どのぐらいの割合の親子が参加していますか?

苗木地区は、1学年の子どもの数が50人なので、対象が50組ほど。ですから例年で15%ぐらい。今年は10%までいっていませんね。

▽両親とも働いている家庭も多いですが、興味があっても参加できない方もあるでしょうね。

親が学ぶ機会に参加できない人に何とかして届けたいのですが、難しいですね。そこが大きな課題です。

▽ところで、苗木公民館は指定管理と聞きましたが。

苗木地域まちづくり推進協議会が指定管理をしています。今年で4年目になります。

▽指定管理の良いところは?

家庭教育も、子育て支援も、生涯学習事業も人づくりまちづくりのためとして一貫して行えるところです。

▽今後どんなことができそうですか?

今、子ども食堂が展開できないか、研究しているところです。支援の必要な保護者への家庭教育などの情報提供の場としても有効だと考えています。

苗木公民館の取組から学びたいこと

①コミュニケーションを深める班作り。

全体ではうまくつながらない人も少人数なら気楽です。班長からも意識的につなげやすい良さもあります。当番さんが出席の確認をしたり最初読み聞かせをしたりするのも大切な活動です。

②学習内容をみんなで決める。事務局が決めたメニューだけでなく、自分たちが参画するという意識で学級に取り組めることはとてもいいことです。

③初めての人が参加しやすい雰囲気。初めての地域、初めての子育てと不安だらけの参加者を「そのままでもいいよ」と迎え入れてくれる雰囲気

が最高です。みんなが気持ちよく活動できる「ぴっころ」は素敵な居場所であり学びの場となっています。

